

ハチの生態 ～ 保健所にご相談の多いハチ類 ～

スズメバチ類

- ・ 巣を守る本能が非常に強いため、巣に近づいたり刺激をあたえると威嚇してきたり、攻撃してきます。

オオスズメバチ



- ・ 体長27mm～40mm。スズメバチの中では世界最大種です。
- ・ 行動範囲は巣を中心とした半径1Km～2Km 位の円。
- ・ 働きバチは威嚇性、攻撃性とも非常に強く、働きバチの数がピークとなる9～10月が特に危険です。

キイロスズメバチ



- ・ 体長18mm～28mm。
- ・ スズメバチ類の中では個体数が一番多くなる種類で、巣が大きくなり営巣空間が狭くなると別の場所へ引越して巣を作る習性がある。
- ・ 働きバチの攻撃性はかなり強く、巣の近くで作業したり、通行するには注意が必要です。刺傷被害が一番多いのはこのハチです。
- ・ 行動範囲は巣を中心とした半径1Km～5Km 位の円。

コガタスズメバチ



- ・ 体長22mm～29mm。
- ・ 性質は比較的温和で、巣に2～3m まで近づいても刺しにくることは少ないが、巣に刺激をあたえたりすると攻撃してきます。
- ・ 庭木の剪定の際に、巣のあることを知らずに刺激して刺されるケースが多いです。
- ・ 行動範囲は巣を中心とした半径1Km 位の円。

アシナガバチ類

- ・ アシナガバチ類は性質が温和で、巣に近づいたり刺激をあたえなければ人を刺すことはありません。

セグロアシナガバチ



- ・ 体長21～26mm。体は黒色で斑紋は黄褐色。
- ・ 比較的小となしく、巣を刺激しないかぎり攻撃してきません。
- ・ 刺傷被害は7～8月の庭木の剪定や草刈りの頃に多くなります。

フタモンアシナガバチ



- ・ 体長14mm～18mm。
- ・ 刺傷被害は6～8月と9～11月で、前者は草刈りや剪定のときに、後者は布団類や洗濯物の取り込みの際に刺される事が多いです。

キアシナガバチ



- ・ 体長21mm～26mm。体は黒色で鮮黄色の毛が密生している。
- ・ 巣に近づくとき、翅を上方にもちあげ威嚇し、更に近づくとき刺しにきます。
- ・ 7～8月の剪定などの際に刺されるのはこの種が最も多いです。

その他のハチ

ミツバチ



- ・ 体長10mm～20mm。ずんぐりした体です。
- ・ 性格は非常におとなしく、巣を直接刺激しなければ刺すことはありません。

クマバチ



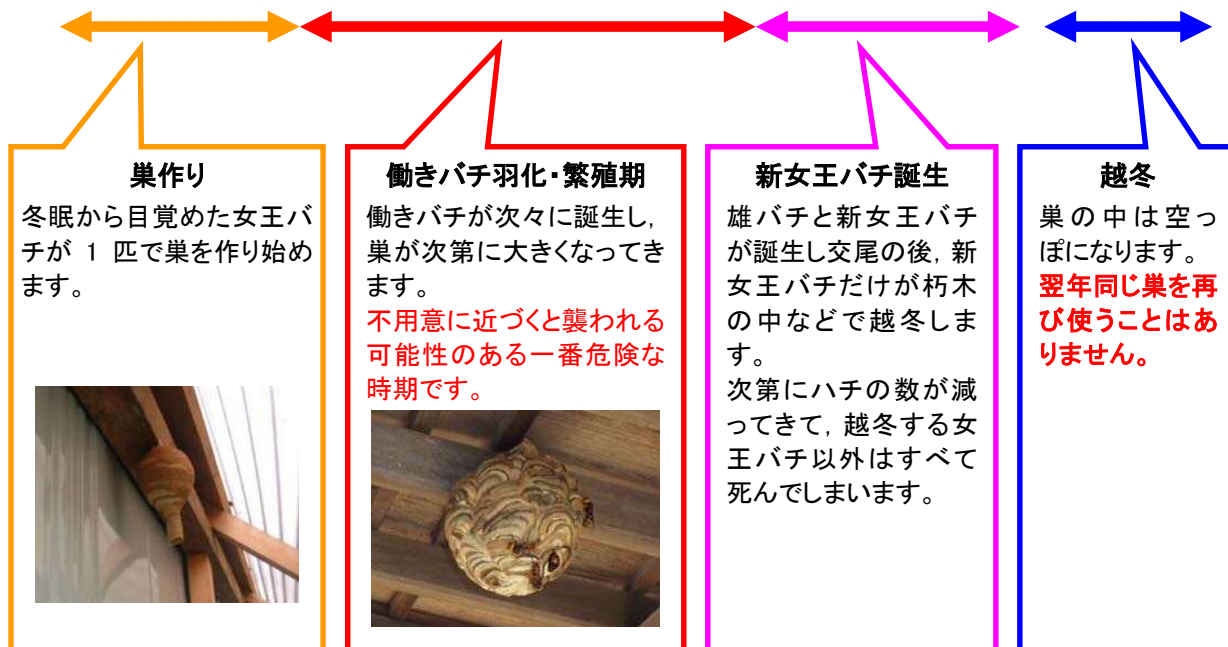
- ・ 体長は20mm 程度です。
- ・ 体は光沢のある黒色で、胸部は黄色の毛が密生しています。
- ・ 体が大きく、羽音の印象が強いため恐怖心を与えますが、性格はきわめて温厚で人を襲うことはありません。

アシナガバチ・スズメバチの食性

- ・ ハチの成虫は、昆虫やアオムシ・ケムシなどの農業害虫・園芸害虫などを捕らえ、細かく噛み砕いて肉団子状にして幼虫に与え代わりに、幼虫からは特殊な体液を与えてもらい(栄養交換)それをエネルギーとして活動しています。その他にハチの成虫は、アブラムシの甘露、クヌギなどの樹液、柿やリンゴなどの熟果・花蜜・砂糖を含有するジュースなどをなめます。

ハチの一生 ~スズメバチの場合~

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月~
----	----	----	----	----	----	-----	-----	------



巣作り

冬眠から目覚めた女王バチが 1 匹で巣を作り始めます。



働きバチ羽化・繁殖期

働きバチが次々に誕生し、巣が次第に大きくなってきます。
 不用意に近づくと襲われる可能性のある一番危険な時期です。



新女王バチ誕生

雄バチと新女王バチが誕生し交尾の後、新女王バチだけが朽木の中などで越冬します。
 次第にハチの数が減ってきて、越冬する女王バチ以外はすべて死んでしまいます。

越冬

巣の中は空っぽになります。
翌年同じ巣を再び使うことはありません。